

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名： ふれあい家族の家

作成日： 平成23年12月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	容態急変や事故発生時の初期対応に、特に夜間帯を主に不安と思っている職員が多い。	すべてのスタッフが最低限の初期対応・応急手当等的確に判断、実施できるようになる。	訪問看護の看護師による勉強会や講習で知識や対応法を習得するように取り組む。	1年
2	38	入居者の精神面、肉体的なレベル低下により起こる不安や安全に対する施設側としてのハード面・ソフト面の充実。	安全で不安の少ない毎日の生活を送る。	1対1の関わり、1対多との関わりと共に余裕をもって関わられるように環境を整える。スタッフの精神面、体力面のフォロー。事業所として出来るハード面の充実。	6ヶ月
3	23	一人ひとりのペースを尊重しているのが、その日の受診、行事時で時間に追われスタッフの都合になり意に添えない事もある。	一人ひとりのペースに合わせ、その人の意に添ったサービスを提供する。	月の予定(受診・行事)を事前に計画し無理のない、現状に即した勤務体制を作る。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。